

■車両系建設機械

01. 墜落・転落

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
1	北海道	8	土石採取業	被災者は、砂利プラントにおいて、トラクター・ショベル(機体重量14.36t)を運転し、骨材原料の原石を原石山の下部から山の上部へと運搬する作業を1人で行っていたところ、同僚の作業員が原石山の山腹にある幅3m、傾斜角11度の斜路の側方下部3mのところに180度転倒し、運転席が潰れているトラクター・ショベルと併に運転席の中の被災者を発見した。なお斜路の一部は崩壊していた。
2	茨城	11	土石採取業	被災者は1人でトラクター・ショベルにて、3次側プラントのコンベアの下にたまった落鉱を1次堆積場の山の上に降ろし、バックで山の上からスロープを下る際に、左後方の法面に左後輪が乗り上げ、車体がバランスを崩し、右側に転倒した。トラクター・ショベルはスロープ下の地面に転落し、運転していた被災者は運転席から落ち、転倒したトラクター・ショベルの左側面と地面との間に挟まれた。
3	静岡	9	土木工事業	工事用道路の復旧作業を、他の作業員と別れ一人でトラクター・ショベルを運転して行っていた被災者が行方不明となったため、同僚らが捜索したところ路肩から約35m下の崖の中腹に被災者が倒れていた。トラクター・ショベルは更に下方の沢に転落していた。現場の状況からトラクター・ショベルが路肩を乗り越え、勾配48度の崖を転落し、被災者が途中で運転室から投げ出されたものと推測される。
4	長崎	6	土石採取業	採石場内において、被災者は、トラクター・ショベルを使用し、道路脇に崩落した土砂の除去作業終了後、当該機械を土砂崩壊場所から採石場内の砂利置き場へ移動させる際に、当該機械とともに砂利置き場から崖下へ約20m転落した。
5	北海道	9	土石採取業	砂利採取場において、被災者はドラグ・ショベル(機体重量15.38t)を運転して埋め戻しおよび転圧作業を行っていた。砂利を降ろしてきたダンプ運転手の同僚が、転圧作業をしていたドラグ・ショベルが2m下の雨水が貯まってきた池(水深1m)に横転しているのを発見した。
6	神奈川	10	土木工事業	トラックで運搬してきた車両系建設機械(バックホウ)を、荷台から降ろす作業中に発生した災害。被災者が自ら車両系建設機械を運転し、トラックの荷台から道板を使用して地面に降ろそうとしたところ、道板が荷台から外れ、その拍子に被災者が車両系建設機械とともに地面に投げ出され、直後に転倒したバックホウに巻き込まれた。
7	富山	11	その他の商業	車両積載トラックからドラグ・ショベルを運転し降ろそうとしていたところ、ドラグ・ショベルと共に横転し、当該ドラグ・ショベルの下敷きとなった。
8	石川	7	その他の建設業	小高い山の上に設置されたテレビアンテナの撤去工事において、アンテナ基礎の解体に使用したドラグ・ショベル(車体幅約85センチメートル)を下山させるために幅約90センチメートルの林道を走行中に、被災者ごと路肩から転落し、運転席から投げ出された被災者が当該ドラグ・ショベルの下敷きになった。
9	石川	4	土木工事業	被災者は同僚1名と共に一般道から田んぼへ農耕機械を入れるための農道(道幅約2m)に碎石を敷く作業を行っていた。農道へドラグ・ショベル(機体幅約2m)を入れて作業を行っていたが作業場所を変えるため移動しようとしたドラグ・ショベルを後退させたところ、路肩からドラグ・ショベルごと約5m下の田んぼに転落し、当該ドラグ・ショベルの下敷きとなった。
10	兵庫	2	土木工事業	被災者が生コンが入った「バクカン」と呼ばれる運搬用容器をドラグ・ショベルにより吊り上げ、コンクリート打設箇所に運搬するためドラグ・ショベルを右回転させたところ、ドラグ・ショベルが河川側に倒れ、運転していた被災者とともに、3.9m下の河川に転落し、ドラグ・ショベルの下敷きになった。
11	島根	4	土木工事業	被災者は、車両系建設機械を使用して、前日の掘削残土が仮置きされている土止め鉄板部の土砂を掻き出し、残土搬出場所である斜面下方へ落とす作業に従事していたが、当該作業箇所から前方にある斜面から当該機械と共に転落しているところを、別の作業員が目撃した。
12	大分	5	建築工事業	ドラグ・ショベルでキュービクルをつり上げて移動させる作業中、被災者がキュービクルの天板の上でドラグショベルのフックに当該キュービクルを玉掛けした後、当該キュービクルの天板の上から降りようとした際、当該キュービクルが回転し、その反動で体勢を崩して、当該キュービクルの天板の上から約2.2m下のコンクリート土台上に墜落した。
13	神奈川	11	建築工事業	倉庫で、高所作業車を使って屋根の補修作業を行っていたところ、作業員が誤って作業車から転落した。クローラ式高所作業車に乗って屋根の軒先でテント用シートをロープで固縛する作業をしていたが、何らかの原因で高所作業車が転倒し、誤っておよそ7.5メートルの高さから道路へ転落した。
14	熊本	7	林業	林業グラブにて、伐木をつかんで、犬走り上の作業道を運行中、バランスを崩して、同機械ごと谷側斜面に転落した。

■車両系建設機械

02. 転倒

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
1	北海道	2	土木工事業	橋梁の撤去工事に伴う工事用道路の造成作業に従事していた被災者は、当日の道路造成が終了後、ドラグ・ショベルを運転操作し河川の中州の工事用道路終点側の除雪等を行っていたが、後進したところ覆帯が雪庇に乗ったためドラグ・ショベルが転倒、水中に運転席が埋没した。

■車両系建設機械

02. 転倒

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
2	広島	7	土木工事業	豪雨災害関連復旧工事において、崩れた土砂をドラグ・ショベルにて掘削しながら整形作業を行っていた。災害発生時、上部から掘削した土砂が下部へ溜まっており、その溜まった箇所においてドラグ・ショベルで周りを掘削していたところ、その溜まった箇所の一部が崩れ、ドラグ・ショベルがバランスを崩し、咄嗟に運転席から飛び降りた運転手のところにドラグ・ショベルが転倒し、挟まれた。
3	岡山	11	土木工事業	農道整備工事において、掘削途中の小段(高さ2m・幅員4m)に置いていたブレーカが丁張作業の邪魔になると思った被災者は、下段に移動させるため、当該ブレーカを運転し、小段の法面をはつていたところ、機体後方からバランスを崩して、法面(傾斜26～38度)をゆっくり横転しながら滑落した。被災者は運転席の扉を開いたまま運転していたため、運転席から放り出され、キャビンと地面に頭部を挟まれた。
4	群馬	12	その他の建設業	受電設備から新設工場へ電線を引き込むため、ケーブルラックの取付けを被災者1名で高所作業車を使用しながら行い、作業床を高さ約4.8mのまま次の位置まで移動したところ、ケーブルラック基礎部分に乗り上げ、高所作業車ごと転倒し、建屋壁に頭部を激突させ被災した。

■車両系建設機械

03. 飛来・落下

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
1	広島	4	土木工事業	河川改良工事(総延長15m、高さ約1.8m、河川両岸のブロック壁設置)において、バックホウ(総質量3.24t、バケット容量0.09)を使用して、コンクリートホッパー(容量0.3m ³)をワイヤ吊りし、河床へ下ろしていたところバックホウが転落し、河床にいた作業者の背部にアームが激突し、下敷きになった。
2	宮城	1	土木工事業	バックホウ位置よりも低く死角となる箇所の函渠の埋戻し作業において、埋戻しの土量及び他の作業員がいないことを確認した後、バックホウで埋戻しの土砂を3m以上の高さから投入する作業を開始したところ、被災者がなんらかの作業で立ち入り、埋め戻しの土砂に埋まった。
3	神奈川	12	土木工事業	サンドドレーン工法により重機で砂杭を造成する工事現場において、砂杭用の砂を砂バケットに入れ、巻き上げ、ケーシング上部の砂ホッパーから投入作業中、砂バケットをつり上げていた玉掛けワイヤー(外径26mm)のアイ部分が切断し、約3m後方の運転席から顔を出していた被災者(重機の操作者)の頭部に砂バケットが飛来落下し、激突した。
4	長野	9	土木工事業	建築工事現場において、基礎工事を行う前の試験掘削を行うため、基礎工事用機械(くい打機)の組み立て作業中、杭回転設置用オーガ(約5t)を吊り込んだ後に、その下方において、アース・オーガ用のガイド(リーダーガイド)を取り付けていたところ、突然、杭回転設置用オーガが落下し、被災者に激突した。
5	宮城	8	建築工事業	現場敷地西側に置いてあった畳を片付けるため、畳の上にあったバケットをグラブブル仕様の油圧ショベルで、約2メートルの高さで把持、反時計回りに180度旋回し敷地東側に移動させようとした。約40度旋回したところで、バケットが落下し、下方で他作業をしていた被災者背部に激突した。なお、当該ショベルのアームは、高さ1.89メートルの扉を跨いでおり、扉の外にいた被災者は、オベからは死角にあった。

■車両系建設機械

04. 崩壊・倒壊

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
1	三重	8	その他の製造業	クラムシェルバケットを交換するため、移動式クレーンを使用してバケットの開閉部材Aを吊り、さらに開閉部材Aと開閉部材BをL形アングルで溶接止めや、チェーンブロック等で繋ぎ止めていたが、被災者が開閉部材Bに上って当該アングルをガス溶断したところ、開閉部材Bが開閉部材Aから離脱し落下した。被災者は落下して横倒しになった開閉部材Bの下敷きになった。
2	新潟	1	林業	作業員2名により、スギ木の伐木作業中、かかり木状態にあるスギ木をつかみ機(ドラグ・ショベルのバケットを替えたもの)で倒すため、つかみ機の背面でかかり木を上部に向かって押し上げていたところ、かかり木が倒れ、下方で伐採作業を行っていた被災者が下敷きとなった。

■車両系建設機械

05. 激突され

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
1	青森	3	土木工事業	資材置場において、現場で使用するコンクリート製側溝(高さ約1m、長さ2m、重さ約1t)をドラグ・ショベルを使用してダンプトラックの荷台上に積み込む作業を行う際、被災者が2段重ねた側溝の1段目の上に上がり、ワイヤロープに手を掛けているときにつり上げを行ったところ、つり上げた側溝の上部が顎に当たり、1段目の側溝の中央にある開口部から地面に墜落した。
2	岩手	5	土木工事業	給水タンクの新設現場で基礎部分の型枠にパワーショベルでコンクリートを打設中、掘削部分の法肩が崩れパワーショベルが傾き、型枠の外側にコンクリートが飛散するのを防止するためコンパネを持っていた労働者がバケットの下敷きとなった。
3	東京	10	その他の建設業	防波堤拡張工事現場の資材仮置場にて、大型トラック荷台から砂利の入った重さ約1トンの屯袋を、バックホウを用いて吊り卸作業を行っていた。大型トラック荷台で作業を行っていた被災者が、大型トラック荷台に載っている屯袋とバックホウで吊り上げた屯袋に挟まれた。

■車両系建設機械

05. 激突され

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
4	長野	12	土木工事業	被災者は作業員3名と河川内の用水路の取水口に堆積した土砂をパワー・ショベルを使用して除去する作業を行い、パワー・ショベルのバケットの届かない場所などの土砂はバケットを下ろし、作業員がスコップで土砂をすくい当該バケットに土砂を入れていた。バケット一杯に土砂を入れ終わったため、パワー・ショベルの運転者が搬出しようとして左に旋回させたところ、旋回内に立ち入った被災者にバケットが激突した。
5	京都	9	清掃・と畜業	ドラグ・ショベルのバケットにあるフックにワイヤーロープを掛け、鉄板(約3m×約1.5m 板厚約2cm)を吊ろうとしていたところ、バケットが右旋回したため、ワイヤーロープを掛けていた鉄板が倒れ、被災者がはさまれた。
6	福岡	1	土木工事業	当該工事は雨水管及び汚水管を約15メートル敷設する工事で、管敷設、埋め戻し後の路盤工事において、路盤材(碎石)をドラグ・ショベルで敷き均していたところ、ドラグ・ショベル後方にいた被災者と後進してきたドラグ・ショベルが接触して被災した。
7	鹿児島	2	土木工事業	床掘り作業中のドラグ・ショベルに被災者が接近(床掘りの深さを測るため)したところ、旋回した同ドラグ・ショベルのカウンターウェイト部分が被災者にあたり深さ約2.2mの床掘り箇所にて墜落被災した。
8	沖縄	2	建築工事業	現場の基礎工事において、ドラグ・ショベルによる掘削作業と、掘削後捨コンクリートを打設するため砂利を敷き均し、打ち込んであった杭(パイル)間の直線を紐で引く等の作業を被災者を含む5名で行っていたところ、ドラグ・ショベルのオペレーターが掘削箇所(地上から約1.5メートル下)で紐で引く作業を屈んで行っていた被災者に気づかず、土砂をすくい取るうとしたバケットが被災者に激突した。
9	東京	9	土木工事業	ニューマチックケーソン工事のうち、作業室内にコンクリートポンプ車により打設作業中、配管内でコンクリートが閉塞したため作業を中止し、地上において監督員及び作業員4名により同ポンプ車のフレキシブルホースと地下にコンクリートを供給する配管とを切り離した際、同ホースが大きく振れて先端のピンバルブ部分が監督員に激突した他、作業員4名が飛散したコンクリートに接触したものの。
10	大分	8	その他の保健衛生業	鉄くず置き場において、車両系建設機械の機体にグラブ状の物を取付た建設機械で廃品を軽トラックから降ろすため旋回したところ、旋回範囲内に居た被災者が当該機械のカウンターウェイトに激突された。

■車両系建設機械

06. はさまれ・巻き込まれ

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
1	北海道	5	道路貨物運送業	停泊中の貨物船からのフレコンバック(内容物石灰、重量約1t)の荷降ろし作業(トラッククレーンで船から港に降ろし、トラクター・ショベル(アタッチメントはフォークに交換)で保管場所に運搬する)において、同僚と2人でハッカーからフレコンバックを外し、トラクター・ショベルに取り付けたフックにフレコンバック2つを取り付けていた被災者が、トラクター・ショベルにひかれて倒れているところを発見されたもの。
2	北海道	3	林業	被災者は、山林において、木材の運搬業務のため、トラクター・ショベルを運転し同材を牽引していたところ、運搬中の斜面でトラクター・ショベルのクローラーに轢かれ倒れているところを、共に作業していた事業主に発見されたもの。トラクター・ショベルは、斜面を逸走して沢に転落し、エンジンがかかった状態で発見された。
3	福井	11	土石採取業	被災者は、トラクター・ショベルにて砂利等の運搬作業を行い、作業が終了したため以前原石の貯蔵タンクとして使用していたサイロの下部(高さ約2m、幅約5m、奥行き約5m)にトラクター・ショベルを片付けようとして後進したところ、天井から突き出しているダクトに運転座席が激突し、そのまま運転座席とハンドルの間にはさまれた。
4	三重	2	土石採取業	木くず破砕チップの積み込み作業を行うために事務所の北側から当該積み込み作業場所へ向って走行していたトラクター・ショベルに、場内を歩行中の被災者が上半身を轢かれた。
5	鹿児島	2	小売業	スキッドステアローダー(小型車両系建設機械:ホイール式トラクター・ショベル)の走行装置の修理作業中、運転席から身を乗り出すような姿勢で立ち上がったときに、アーム上下操作の左ペダルを踏んでしまい、アームが上昇して、アームのバケットシリンダー部分とヘッドガード上部に頭部を挟まれた。
6	福島	8	土木工事業	被災者は、歩道側の縁石に「墨出し」をした後、墨の付き具合を見るため屈んでいたところ、路盤を掘削していたバケット容量0.1立方メートルのドラグショベルが後退してきて、轢かれた。
7	茨城	9	その他の事業	道路舗装補修工事において、一次下請の作業員がドラグショベルでマンホール周辺のアスファルトをはぎ取るため後進したところ、後方にいた交通誘導員をひいてしまった。
8	埼玉	10	土木工事業	地盤改良工事現場で、被災者が一人でドラグ・ショベルを使用して残土をダンプトラックの荷台に積み込む作業を行っていたところ、ダンプトラックの後部とドラグ・ショベルの車体に胸部を挟まれた。発見時、ドラグ・ショベルのエンジンは起動したままで、クローラー部分が駆動していた。

■車両系建設機械

06. はさまれ・巻き込まれ

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
9	埼玉	4	その他の事業	配水小管移設工事現場において、重機置場から工事帯に油圧ショベルを移動させる際、誘導のために油圧ショベルのあとを追ったところ、油圧ショベルがバックしたために被災者を挟んでしまった。
10	東京	7	土木工事業	工事で使用しているバックホウ(機体重量11.5トン)の後方で作業を行っていた被災者に気付かずバックホウをバックさせたため、被災者がバックホウに腰から下を挟まれた。
11	岐阜	7	その他の事業	道路工事において、ドラグ・ショベル2台によりアスファルトの打換工事を行っている傍で、片側交互通行面と工事区画の境に立って交通誘導を行っていた警備員が、後進してきたドラグ・ショベルのクローラに挟まれた。
12	大阪	2	土木工事業	舗新築工事現場において、被災者は、同僚作業員と共に、機体重量2.8トンのドラグ・ショベルの運転者の指示を受けて、地盤の埋め立て作業を行っていたところ、バック走行中の当該ドラグ・ショベルにひかれた。
13	島根	9	土木工事業	ずい道建設工事現場の坑内において、被災者を含む5名が坑口から約2,700メートルの切羽付近で掘削作業を行っていた。発破作業が終わり、ドラグ・ショベルとトラクター・ショベルを切羽近くに配置して、各機械の運転者以外の被災者を含めた3名は後方で待機し、各機械によるずり出し作業が行われていたところ、被災者がドラグ・ショベルの切羽に向って左側を行き来し、ドラグ・ショベルの左後ろ側の履帯部分に挟まれた。
14	東京	5	建築工事業	新築工事現場において、ドリリングバケットを装着したくい打機での掘削作業を終えて、バケットを砂礫層掘削用バケットに交換するため、くい打機のオペレーターが被災者に、くい打機を旋回させて良いか確認をした後に、上部旋回体を旋回させていたところ、被災者が杭穴への墜落防止用の手すりといく打機のカウンターウエイトとの間にはさまれた。
15	千葉	8	土木工事業	舗装修繕工事現場において、プレートコンパクター(小型締め固め振動機)を使用して舗装の継ぎ目(始端及び終端)部分の予備転圧作業を行っていた被災者が、予備転圧する際にプレートコンパクターとアスファルト舗装面との間に入れる敷板を手にとって次の施工箇所へ移動中、後退してきたコンパインド振動ローラー(前輪がローラー、後輪がゴムタイヤである締め固め用の車両系建設機械、重量3.6トン)に挟まれた。
16	広島	10	土木工事業	道路トンネル舗装工事現場において、転圧作業を行っていたタイヤローラーが、碎石を運搬してきたダンプトラックを通すため、後進で進路を変えた際、付近でトンネル床盤端をスコップで碎石のならし作業をしていた作業者を挟んだ。
17	福島	11	土木工事業	石蔵解体後の鉄骨やガレキの運搬及び整地を行っていた現場で、解体後に発生した基礎のガレキを車両系建設機械(ブレーカ)で破断等を行っていたところ、周辺で鉄骨等の片付けをしていた被災者が、ブレーカの後ろに行ったときに、後進してきたブレーカにひかれた。
18	石川	11	その他の事業	事業場が緩やかな傾斜の林道で高所作業車を使用して電話線敷設作業を行っていたが、作業終了後高所作業車を移動させるために高所作業車の運転者が逸走防止のために設置してあった輪止めを撤去した後、高所作業車のアウトリガーを格納しようとしたところ、高所作業車が後退したため、交通誘導していた被災者も加わって手で車を止めようとしたが、危険を感じ退避しようとした時、被災者が転倒し車と地面との間に挟まれた。
19	兵庫	12	その他の保健衛生業	被災者と高所作業車の運転者の2名が作業床に乗り建物外壁等の清掃作業を行っていたところ、作業床の下の道路にトラックが来たため、高所作業車の運転者がトラックを通そうと、作業床を上昇させたところ、身を乗り出して清掃作業をしていた被災者が作業床の手すりとの建物の出窓の下面部との間に挟まれた。
20	宮城	10	建築工事業	鶏舎(鉄骨平屋建120坪)の解体作業を被災者を含む3名の労働者で作業中、解体した柱の部分(幅17cm、長3mのH鋼、重量50kg程度)をスリングを使用し、グラブ(バケットに交換し車両系建機に転用可能)で吊り上げるため、被災者がスリングのアイの部分をグラブに掛けたときに、グラブのオペレーターは被災者が退避したと思ってグラブを閉じたため、被災者の頭部がグラブに挟まれた。
21	長野	10	建築工事業	解体工事現場において、被災者が屈みこみ、コンクリートのガラを拾う作業を行っていたところ、被災者の後方から後退してきた建設用機械(ドラグ・ショベルのアタッチメントをグラブに変更したもの)の履帯に挟まれた。